

第二次美祢市総合計画

基本計画

(素案)

観光・産業部会

令和元年6月13日現在

美祢市

基本目標 2 : 「魅力の創出・交流」の拡大

基本方針 1 観光の振興と魅力の創出

施策 1 観光の振興

現状と課題

- 秋吉台や秋芳洞を中心として、市全体の観光交流人口は増加傾向にあり、外国人観光客も増加していますが、観光による経済循環の仕組み、受入体制は十分とは言えません。
- 秋吉台を中心に、スポーツ愛好者の取り込みに注力しています。また、秋吉台地域の新たな交通手段と滞在時間の延長を図るため、レンタサイクルとカルスタクシーを連携した取組を行っています。
- 秋吉台エレベーター、観光交流センター1階、秋芳洞案内所公衆便所等、観光施設等の計画的な改修を実施していますが、未だ老朽化施設が多く、建て替えや再整備など観光客の求める観光地の整備に向けて計画的な改修を行う必要があります。
- 本市では、体験型観光を押し進める必要があると同時に、食の提供が弱く、今後食メニューの開発と共に第一次産業を始めとした他産業の結びつきが必要です。
- 山口市をはじめとした近隣市町と連携を図りながら、広域での周遊ルートの造成や産業観光ツアーなど、広域連携による観光客の誘致に取り組んでいます。
- 市場のさらなる開拓のため、広域連携による統一した仕組みの整備や選ばれる体験メニューの開発が必要です。
- 新山口駅や山口宇部空港からの二次交通対策を行うと共に、豊かな自然環境と保全に合せた観光を楽しむ交通体系の整備が求められます。

取組の方向

魅力ある観光コンテンツの発掘・開発を推進するとともに、本市を訪れる観光客が、「訪れやすい」「回遊しやすい」環境整備を行います。また、秋吉台、秋芳洞を中心とした老朽化施設の整備をきっかけに、観光客の視点に立って観光客が楽しめる体験型・着地型観光のプログラムを造成します。

主な取組

1 特徴ある資源を活かした観光の振興

秋吉台・秋芳洞などを中心とした特徴を最大限に活かした観光振興策を押し進めていきます。

3 交通アクセスの整備

新山口駅や山口宇部空港からの二次交通対策を行うと共に豊かな自然環境と保全に合せた観光を楽しむ交通体系の整備を推進します。

2 着地型観光の推進

観光協会等のより、「Mine秋吉台ジオパーク」を活用し、産業観光や着地型観光などの観光プログラムの構築を促進していきます。

4 観光施設の改善

秋芳洞内棧橋整備等、観光施設の計画的な改修等を行い、観光資源のブランディングを進めます。

5 サイン計画の推進

統一的なデザインで分かりやすく、来訪客へのイメージ戦略を行います。

6 観光推進体制の強化

経営状況の明確化、経営の弾力化、経営意識の向上、資産の有効活用等を図るため、観光事業特別会計を公営企業会計に移行します。

7 広域連携による観光交流の推進

山口県央連携中枢都市圏や下関、長門などの枠組みによる広域連携を活かし、本市への観光ルートの確保と一体的な振興を図ります。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①②③④⑦観光交流人口	155万人 (H29)			
②着地型観光催行割合				
③秋吉台かるすとタクシー乗客数				
④観光施設改修率				
⑤美祢市の認知度				
⑥観光事業会計黒字額				
⑦秋芳洞入洞者数				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、美祢市都市計画マスタープラン、秋吉台地域景観・施設整備基本計画、美祢市サインシステムサイン設置計画書・整備マニュアル、美祢市地域公共交通網形成計画、美祢市六次産業化基本計画

現状と課題

- 美祢市の観光情報を発信するため、インバウンド向けの多言語化や観光施設へのWi-Fi設置など、通信環境の整備を図っています。
- 海外市場に向けた連携体制は、県や山口市などと連携していますが、今後の受入体制など市町間の連携をさらに充実させていく必要があります。
- 一方的なインバウンドだけでなく、アウトバウンドを意識した、海外への輸出やPRの拡大を図る必要があります。

取組の方向

美祢市台北観光・交流事務所を交流の拠点として、東アジアを中心とした観光客誘致を図っており、今後ともインバウンド獲得などの振興を進めます。

2020年の東京オリンピック・パラリンピックを契機に、日本を訪れる外国人観光客の更なる増加が予測されることから、受け入れ体制の確保を促進します。また、観光客の多くを占めている東アジア圏だけでなく、アメリカ、ヨーロッパ諸国への対応にも注力します。

主な取組

1 国際観光の強化

海外の拠点を中心とし、外国人観光客獲得に向け、海外への発信を強める情報戦略や山口県などと連携した施策展開を図ります。

2 受入環境の整備

観光施設へのWi-Fi設置、受付対応、多言語表記やキャッシュレスなど外国人観光客に対応した環境整備を進めます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①外国人観光客数				
②外国語対応のガイド数				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画

施策3 おもてなしの向上

現状と課題

- 市観光協会が市内中高生や観光産業従事者、観光ボランティアを対象にホスピタリティの向上を図るとともに、地域資源や人材の掘り起こしを目的におもてなし人材育成事業「おもてなしびと認定制度“みねしゅらん”」及び次世代の担い手である中高校生が郷土愛をもち、将来、美祢市に住み続けたいと考えてもらう「スクールみねしゅらん」を実施しています。
- 秋吉台地域には複数のガイド団体が存在しており、観光客からわかりにくく、利用がニーズに即した体制となっていない状況にあります。
- ガイドを集約し窓口を一本化することで、分かりやすい組織にする必要があります。
- 比較的若い世代に対しては、ジオパーク学習などを通じた、美祢市の観光に関する考え方が広がっていますが、年齢の高い層に対しては市内が一体となった観光のあり方とおもてなしの心の醸成が必要です。

取組の方向

市民のおもてなし意識の醸成を行い、観光振興にかかわる市民の増加を図り、市民総参加のおもてなしにあふれた観光地づくりを推進します。また、ふるさとへの愛着や誇りを育んでもらい、ひいては次世代の観光産業を担う人財の育成に結びつけます。

主な取組

1 おもてなし観光の充実

市内のガイドを中心として、観光客が求める、おもてなしの心の醸成やスキルを向上することで、観光のリピーターを増加させます。

2 観光関連従事者の連携強化

市内の観光関連事業者と他産業事業者の連携を促すとともに、市民のホスピタリティを向上させます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①有料ガイド登録者数	68人 (H29)			
②みねシュラン認定者数				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画

基本方針 2 交流・関係の拡大と発信の強化

施策 1 国際交流の推進

現状と課題

- 市民海外研修により、中高生を中心に異文化交流を通じて、国際感覚や美祢市の良さの再認識する取組を進めています。
- 秋吉台インターナショナル・ユースサミットの開催などにより、美祢市で行う誇りの醸成と国際感覚溢れる人材育成を行う必要があります。

取組の方向

友好都市等との交流や海外研修など、海外での活躍の場づくりに取り組むとともに、本市を舞台とした国際交流活動を積極的に推進します。また、グローバル化の流れが進む中で、多様な文化や価値観を認め合う、多文化共生社会の実現に向けた取組を進めます。

主な取組

1 国際交流の推進

友好都市などとの人材交流、海外研修などを進めます。

また、本市の自然、歴史、産業などを利用した市内での国際交流事業を推進します。

2 多文化共生社会の推進

外国人観光客や交流人口の受け入れに伴い、多文化共生社会の実現や観光産業での多言語化に関する取組を進めます。

また、対等な関係で交流ができるよう、市民の外国人や外国文化に対する理解を促進します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
②国際交流による相互交流人数				
③多文化共生社会事業参加者数				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、美祢市サインシステムサイン設置計画書・整備マニュアル、美祢市地域公共交通網形成計画

施策 2 資源を活用した交流の推進と関係化

現状と課題

- 本市の魅力都市部に発信するには、秋吉台を中心としたイベントを本格化させる必要があります。
- 体験型観光を推し進め、地域団体とともに田舎体験などツーリズムを展開する必要があります。
- 美東桂岩ふれあいセンター、八代めくもりの里、鳳鳴地域交流センターなど、地域資源を活用したイベントを企画し交流を行っています。一方で、担い手の育成や一部内容の充実を図る必要があります。
- 情報発信力と都市部との関係性が弱いため、関係促進を図り人材交流を進める必要があります。

取組の方向

「秋吉台」を中心とする「Mine秋吉台ジオパーク」を交流と関係構築の拠点として、都市圏への発信力強化を図るため、各種大型イベントの魅力向上を行います。また、ツーリズムや都市と農村の交流を進め、地域の担い手と団体育成を図り、観光と地域の振興につなげます。また、都市部で地域に関わりを持つとする「関係人口」に着目し、全国の若者等と地域間交流などの関係化を図り、人材交流を推進します。

主な取組

1 イベントの強化による交流の促進

秋吉台を中心としたマラソン大会、サイクルスポーツ・ウォーキング大会等の開催など、大型イベントに磨きをかけ、本市の観光コンテンツの魅力化を行い、都市部への発信の強化により、交流人口の拡大を行います。

3 都市・地域間交流の促進

都市と農村との交流においては、交流施設を活用した地域の魅力を活かし、田舎体験などの地域プログラムを造成し、都市部や若者の交流を促進させ、本市の認知度を上げます。

2 ツーリズムの強化による交流と関係の拡大

秋吉台を中心としたツーリズムなど、地域の資源を活かし、受入地域など組織と人材育成を行い、体験コンテンツの造成を推進し、交流人口と関係人口の拡大を行います。

4 関係人口化の推進

都市部の地域に関わりを持つ人々が地域づくりにかかわる機会を提供し、「関係人口」化に着目した取組を進めます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①美祢秋吉台ジオパークマラソン参加者数				
①ツーリズム参加者数				
③都市と農村等地域間交流数				
④関係人口登録者数				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、

施策3 地域情報、観光情報の発信

現状と課題

- 観光情報の取得のため、携帯端末機器を活用した情報発信ツールやWi-Fi環境の整備をしていますが、認知度が低く活用の促進が図られていません。
- 外国人観光客や都市圏へ本市の魅力を発信する取組が不十分です。
- グローバル化や地方創生による都市間競争が激化する中、他との違いをしっかりと打ち出し、美祢市の特徴や魅力を活かした情報の提供を進める必要があります。

取組の方向

インターネットなどの情報化が進む中で、美祢市が選ばれるための魅力的な情報戦略を推し進めます。また、観光情報だけでなく、ツーリズムや体験交流の情報など、一体的なシティプロモーションによる情報発信の構築を強化します。

主な取組

1 観光情報の発信の強化

インターネットやSNSによる情報拡散効果、ポスター、動画やパンフなど、効果的で印象的な観光情報を外国と都市部へ向け、発信の強化を図ります。

3 シティプロモーションの促進

都市部への発信を強化し、美祢市の認知度を高めるため、市全体のイメージ戦略を行います。また、フィルムコミッションの強化によるロケ地誘致を図ります。

2 情報発信の仕組みづくり

観光協会や市によるイベント情報、地域ブランド、ツーリズムや地域間交流等の情報の一元化と情報の集約を進め、迅速で円滑な情報発信体制を構築します。

4 市政情報の効果的な発信

市民や市外者のニーズを的確に捉え、効果的な発信による交流と関係化を深めるため、広報、ホームページやケーブルテレビの内容の充実化に取り組みます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①美祢市の魅力度ランキング				
②美祢市の情報接触度ランキング				
③映画・CM等ロケ地誘致数				
④美祢市の認知度ランキング				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、秋吉台地域景観・施設整備基本計画

基本方針3 自然・文化の保護と活用

施策1 自然環境の保全

現状と課題

- 秋吉台国定公園の貴重な自然景観や、歴史・文化を後世に伝えるために、地域住民と協働した保全活動が重要となっています。
- ラムサール条約に登録された秋吉台地下水系の自然環境の保全と活用が重要視されており、ジオパークと連携したプログラムの促進が必要です。
- 別府弁天池に代表される美しい地下湧水が観光地や養鱒場として活用されているほか、灌漑など地域の生活にも欠かせない資源となっています。

取組の方向

秋吉台国定公園の景観や生物多様性に配慮しながら、保全と活用に努めます。また、市民や民間との協働による管理体制の構築を目指します。

ラムサール条約やジオパークに登録されている美祢市独自の自然環境の保全を進めながら、観光や産業等への活用を促進します。

国内でも有数の美しい地下湧水についても、生活資源として利用されている現状を維持しつつ、より有効な活用を実践します。

主な取組

1 秋吉台国定公園の保全

市民の最も誇れるものであり、美祢市観光の基幹である秋吉台国定公園の環境保全と活用に取り組みます。

2 地下水系の保全

全国ではじめて地下水系でラムサール条約に登録された秋吉台地下水系と別府弁天池等貴重な湧水など、地下水系の保全と活用に取り組みます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①秋吉台山焼きボランティア数				
②別府弁天池観光客数				

▼ 関連する計画

美祢市都市計画マスタープラン、美祢市観光振興計画

施策 2 ジオパーク活動の推進

現状と課題

- 国内44地域のジオパークで構成する日本ジオパークネットワークにおいては、本市での全国研修会開催や、同ネットワーク事務局に職員を積極的に派遣するなど、国内のジオパーク活動に貢献しています。
- 世界との交流をより高度かつフレンドリーとするため、世界ジオパーク推進課に英国籍の国際交流員を配置しました。
- ジオパーク活動の根幹ともいえる地質遺産等の保全に関して、秋吉台地域を中心とした保全管理計画の策定をはじめており、重要な地質遺産等を永続的に守るために計画を策定し、実施していく必要があります。また、自然科学分野における資源や資料の収集・保存や展示、一般公開、教育といったジオパークとしての「博物館機能」の拡充を図ることも重要です。
- ジオパーク活動を行う市民や認知している市民の数はまだ十分ではなく、市全体で更なるジオパーク活動の拡大が求められています。ジオツアー参加者やジオガイドの人数は増加しているものの、より一層の充実が重要です。

取組の方向

「Mine秋吉台ジオパーク」の保全、研究等の活動を、山口大学や秋吉台アカデミックセンター等の様々な高等教育機関・学識者からの適切な助言を受けながら推進します。また、資料の保存や一般市民への公開、教育といった博物館機能の拡充を図ります。

また、ユネスコ世界ジオパークの認定を見据え、ジオパーク国際大会や交流事業に参加し、口頭発表や意見交換により他国のユネスコ世界ジオパークとの新たなネットワークの構築を進めます。

主な取組

1 ジオパーク活動の普及・啓発

ジオパーク活動に携わる市民の拡大を図るため、市内各地に活動拠点をもつ団体に対し、本市の未来を一緒に考える機会をつくります。あわせて、団体同士のネットワークを構築します。

3 ジオパーク機関などとの連携強化

ジオパーク国際大会や国内外の交流事業等に参加し、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた活動を強化します。

2 ジオ・ツーリズムの推進

美祢市観光協会と連携して、ジオツアー販売システムを構築し、観光客の満足度を高めます。また、ジオガイドの養成やスキルアップに関する講座を定期的を開催し、ジオガイド組織の拡充に取り組みます。

4 博物館機能等の充実

民俗資料や歴史資料並びに地学資料を総合的に保存活用し、郷土の歴史と文化財に対する市民の意識と理解を深めるため、秋吉台科学博物館他、長登銅山文化交流館等の博物館施設の充実を図ります。また、ジオパーク推進活動や観光施設との連携を図り、新たな見学ルートの開発や各種広報・PR を強化します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①公開講座参加者数	387人 (H29)	748人	834人	
①児童・生徒向け講座参加者数	942人 (H29)	1,343人	1,729人	
②ジオツアー参加者数	1,007人 (H29)	1,800人	2,300人	
②ジオガイドの人数	56人 (H29)	88人	100人	
③地球科学専門常勤職員数				
④秋吉台アカデミックセンター活動事業数				
④秋吉台科学博物館入館者数				

▼ 関連する計画

基本目標3：強みを活かした「産業の振興」

基本方針1 特色を打ち出した農林水産業等の振興

施策1 農畜産業の振興

現状と課題

- 「厚保くり」「秋芳梨」「美東ごぼう」の三大特産物について、担い手の確保や市場拡大といった振興策に取り組んでいく必要があります。
- 「はじめてみ～ね農業応援事業」として新規就農希望者の就農までの研修や就農に向けた施設整備など、経営初期の負担を軽減する支援を行い、農業生産振興対策の振興及び新規就農者の定着促進により、担い手の確保につなげています。
- 農地等の整備について、可動堰・ため池改修・暗渠排水が完成し、基盤整備3地区もほぼ完成しており、今後の農業への取組意欲が向上している状況です。
- 農地等の利用最適化を図り、わずかながら遊休農地は解消しつつあります。しかしながら、相続による市外在住非農家や農業従事者の高齢化、有害鳥獣被害の拡大により耕作を断念する方が多く、新たな遊休農地が増加傾向にあります。

取組の方向

本市の恵まれた農業特産物の振興を推し進めることでブランド化を図り、産業の活性化につなげます。また、農業生産の維持・振興に向けて集落営農法人やその連合体等の生産体制の充実を図り、新規就業などによる担い手の確保・育成を進めます。

主な取組

1 農畜産物の振興とブランド化の推進

水稻、野菜、果樹、畜産をはじめとした農畜産物の生産振興及び農業経営基盤の確立に向けた各種支援を行います。

また、三大農産物等のブランド化に向けた磨き上げやプロモーションに取り組めます。さらには、JAや各種農業法人、民間などと連携し、安全・安心で消費者ニーズに即した農畜産物の生産と流通体制の強化を図ります。

3 農業生産基盤整備の推進

農地や施設の老朽化による破損等に対応し、土地改良事業を実施します。

また、基盤整備やため池改修等のニーズと必要性に応じ、事業推進に取り組めます。

2 農畜産業の担い手の確保

集落営農法人の相互連携を進め、国、県の施策とも連携しながら、地域の核となる経営体の育成を図り、新規就業者等担い手を確保・育成します。また、担い手の減少、高齢化の進む地域の農畜産業経営の安定化を図るため法人等の相互連携を支援します。

4 遊休農地対策の推進

農業経営者への農地利用についての意向調査を踏まえて5年、10年後に目指す姿を策定し、耕作放棄地の解消を行います。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①農林水産品の付加価値認定商品数	1			
②認定新規就農者の数	11人(H29)			
②担い手への農地の集積率	32.9%(H29)			
③圃場整備率				
④耕作放棄地面積				
⑤市有林の整備面積				
⑥有害鳥獣の駆除数				
⑦経営管理権集積計画策定数				

▼ 関連する計画 美祢市六次産業化基本計画

施策 1

森林の保全・活用と林業の振興

現状と課題

- 山林などの自然環境は、地域の過疎化や農林業従事者の高齢化、担い手不足などの理由により荒廃が進んできています。また、林業従事者についても、高齢化や若年層の地区外流出に伴い、労働力が減少しつつあります。
- 本市においては、秋吉台の自然保全や山林の維持管理のため、整備事業を展開していますが、その担い手の高齢化や引退を主な原因として事業が十分に実施できない状況です。
- カルスト森林組合等と連携し、放置され荒廃した竹林等を整備し、森林施業や間伐材搬出コスト削減に向けて森林作業網の整備を進めています。
- 有害鳥獣による農作物への被害防止のため、捕獲業務、侵入防止対策を実施しています。
- 高齢化や担い手不足等により、経営・管理することが困難な森林を今後どのように管理し、森林の機能を発揮させることができるか検討していく必要があります。
- 増加し続ける有害鳥獣による農作物や林産物への被害を防止するため、有害鳥獣捕獲及び侵入防止対策が必要です。

取組の方向

本市の恵まれた森林の持つ多面的機能が発揮され、自然環境の保全が保たれるよう、森林施業の実施や森林作業網を整備し、林業基盤の整備や地域における山林の環境整備により林業の振興に取り組みます。

主な取組

1 林業の振興

林業施業の効率的な実施方法をカルスト森林組合との連携し、取組を推進します。また、森林作業路の計画的な整備を進め、林業生産の向上を図ります。

3 森林などの保全と活用

「新たな森林経営管理制度」を活用し、森林所有者とともに経営や管理計画を定め、林業振興を図ります。

また、「森林環境譲与税」事業と「やまぐち森林づくり県民税」事業等を活用しながら、国、県、市、森林所有者、森林組合等の間で相互連携を密にし、適正な森林施業を実施することにより、健全な森林資源の維持増進だけでなく、水源のかん養や災害防止につなげます。

2 有害鳥獣による被害防止対策

農作物等や市民への被害防止に向けて、自然環境保全の取組と活用の検討も行いながら、駆除対策組織と連携し、有害鳥獣対策を強化します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①市有林の整備面積				
②有害鳥獣の駆除数				
③経営管理権集積計画策定数				

▼ 関連する計画 美祢市六次産業化基本計画

基本方針 2 商工業の振興と起業促進

施策 1 商工業の振興

現状と課題

- 美祢商工会等各種団体に対する補助金等をはじめ、商工業活性化事業や中小企業者融資事業(美祢がんばる企業応援資金融資事業)、商工貯蓄共済融資保証料補給事業などにより、商工業の活性化を図っています。
- 中心市街地における空き店舗の増加や各地域における商業施設の撤退・廃業が課題となっており、まちのにぎわいづくりや商業施設・サービス機能の維持・確保が課題となっています。
- 起業家などへの支援・育成として、美祢あきない活性化応援事業による空き店舗の活用、イベント開催などの取組を行っています。

取組の方向

県、商工会及び関係団体との連携を強化し、市内商工業者の経営の安定化を支援するとともに、小売業、サービス業等の事業承継や経営基盤の強化や起業を支援します。また、魅力ある企業活動の創出に向け、ビジネスマッチングやICT技術の導入による新産業や付加価値の高い産業の創出を進めていきます。

主な取組

1 商工業の活性化

山口県央連携中枢都市圏事業と連携による新たなビジネスマッチングの促進などにより、市内商工業者の振興・育成を行います。

また、企業の新分野参入やICT技術導入などの促進を図ります。

3 商工業団体等の機能強化

商工会などの機能強化を行い、融資制度の利用促進や市内商工業者の連携強化を行います。また、商工団体と多様な主体の連携により、賑わいの空間づくりの検討と推進を行います。

2 担い手の確保

商工業分野の継続・発展に向けた担い手確保のため、就業への魅力PRやマッチング支援、就業への補助といった支援策に取り組みます。

また、事業承継支援の取組を推進することで、経営者の高齢化や後継者の不在による廃業を防ぎ、地域の働く場を維持、創出します。

4 起業家などへの支援・育成

新産業の創出、新規創業や空き店舗・空きスペースを活用して開業する起業家などへの支援と新たな発掘及び育成、ビジネス支援を行います。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①年間商品販売額	1,551百万円 (H29)			
①製造品出荷額等	12,189百万円 (H26)			
②事業承継支援数				
③制度融資利用件数				
④起業家支援数				

▼ 関連する計画

美祢市六次産業化基本計画

現状と課題

- 産業の振興のため、市民、事業者、関係団体、行政など産業に関わる全ての分野が一体となって、協議による振興施策への取組を推進しています。
- 市内の工業団地に対する企業誘致は平成26年度以降、合計5件の企業誘致に成功しており、定期的な実績に繋がっています。
- 未利用の土地の活用や美祢市の特徴を活かした産業の育成を図るとともに、労働力の確保を進めていく必要があります。
- 市、就職相談室、ハローワークが連携して、美祢ミニ就職面接会を開催しています。
- 「地元の企業を知ろう in美祢」と称して、高校生就職ガイダンスを実施しており、地元企業への理解と就業の促進につなげる取組を実施しています。
- 地元企業にとって人材確保が課題となっており、地元企業のあらゆる魅力の発信とマッチング支援が求められます。
- 福利厚生については、「美祢市勤労福祉共済会」により、中小企業に勤務する未組織の勤労者に対する福祉の向上対策を実施しています。

取組の方向

本市の有する地域資源を活かした企業誘致を進め、産業の活性化と市民の雇用の創出に取り組みます。

学生や若者に対し、地元企業の魅力を発信し、地元での就労を促すとともに、就労の機会・場を提供することで、働きたい人と人材を求める企業とのマッチングを行います。また、労働者に対する福利厚生を向上させるため、勤労者福祉共済制度への加入促進に取り組みます。

主な取組

1 企業誘致活動の推進

市の特徴と強みを活かした産業振興の一体的な方針のもと、企業訪問等によるPRを促進させ、美祢市の産業の活性化と若者の雇用の場の確保に向け企業誘致活動を充実させます。

3 地元企業への理解の促進

インターンシップなどの活用により、地元愛の醸成や地元企業への理解をさらに促進することで、市外へ転出した若者が地元で仕事をしたいと感じられる環境づくりと情報の発信を強化します。

2 時代に即した事業用地の確保と利用促進

空き地や空き工場への企業進出について、ICT等を活用した新たな働き方に即した事業スペースの利用等、さらに積極的な働きかけを行い、新たな雇用の場の創出を行います。

4 就労機会・場所の確保

各種雇用相談や県内外のジョブフェアへの出展の拡大、就職面接会及び就職ガイダンスの継続と充実を図り、就労機会・場を確保します。また、シルバー人材センターを活用し、高齢者の就業機会の確保や職業紹介、職業訓練などに取り組みます。

5 多様で柔軟な働き方ができる労働環境の整備
ICT等を活用したテレワーク、自宅勤務などを取り入れる事業主を支援します。

個人の生活設計に応じた柔軟で多様な働き方を選択できるワークシェアリングなどに関する普及啓発を行います。

6 労働者の福利厚生や教養文化の向上

市内労働者の福利厚生、教養文化の向上を目的として勤労者福祉共済制度への加入を促進するとともに、指定管理者との連携により、勤労者福祉施設を充実させ、利用を促進します。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①年間進出企業数	1社 (H29)			
②空き工場等への誘致数				
①インターンシップを受け入れている企業数				
②ジョブフェア出展企業数				
②市就職説明会の参加者数				
③テレワーク等ICT活用雇用創出事業者数				
④勤労者福祉施設使用件数	3,740件 (H29)			

▼ 関連する計画

基本方針3 魅力産業の振興と地域内経済の活性化

施策1 地場産業の育成と観光産業の振興

現状と課題

- 秋吉台地域で多様なイベントや地域資源を活用した着地型観光による観光客の取り込みを図っていますが、観光産業への波及には至っていない状況です。
- 道の駅や地元商店会、市民と協働でイベントを実施し、商品や地元食材のPRに力を入れています。
- ランタンナイトフェスティバルや桜まつりなど市内外から人が集まるイベントを実施し、賑わいの創出と交流人口の拡大を図っています。
- サイクリング・ウォーキング大会等の開催で、秋吉台地域の新たなブランドイメージは、序々に浸透していると考えられます。今後さらに、これらの大会を観光産業の振興につなげていく必要があります。
- 滞在時間の延長を図る必要がありますが、本市の宿泊施設の状況は秋吉台家族旅行村などアウトドアが中心となっており、他の宿泊は広域連携でカバーしている状況です。
- 滞在時間の延長に向けて、地域の文化や資源を活かした体験観光コンテンツの整備や地域自らの取組の活性化が課題です。
- 道の駅「みとう」や直売所「みとう」では、施設の老朽化が顕著となっており、商品を安定供給できる体制づくりや施設の魅力化について支援する必要があります。
- 道の駅「おふく」の交流センターの大規模改修を行ったほか、再犯防止・地方創生連携協力事業の実施に伴う、道の駅「おふく」におけるストアサイトを開設しています。ストアサイトの市内事業者への周知や実用はまだ不十分な段階です。
- 第三セクターである「美祢農林開発」は、たけのこ水煮、竹割箸といった地域資源を活用した商品開発を行っています。「食」は観光産業においても重要なテーマであり、美祢市の地域資源や魅力を活かした食のさらなる開発が求められます。

取組の方向

地域資源の掘り起こしや整備による新たな観光産業の育成と担い手の確保を進めるとともに、観光産業や関連産業に携わる事業者、団体等のネットワークを構築し、本市の魅力を共有します。

また、地域経済の活性化と観光との連携に向けて、道の駅「みとう」、「おふく」、美祢農林開発や直売所みとうなどの拠点を活かし、地場産品を市外にPRし来訪を促す機能を充実させます。また、地域の農業者や六次産業者の販路拡大・収入増に向けて連携を強化し、観光客などに喜ばれる新たな食の開発など、地域資源の活用・工夫に取り組めます。

主な取組

1 観光産業の育成・強化

観光協会や道の駅などを中心とした観光産業の育成を行い、産業規模の拡大を目指します。

2 担い手の確保

観光産業を実践する関係各所と連携を取りながら、担い手確保と育成を行い、受入態勢を整備します。

3 道の駅などの活性化

道の駅などの施設の機能強化を行い、利便性の向上とさらなる集客の増加を目指します。また、美祢農林開発の開発力を強化し、積極的な地域資源の活用による商品化に取り組みます。ストアサイトを活用したネット販売についてPRし、消費者の利用と生産者の活用促進に取り組みます。

4 観光と連携した地場産業の育成

魅力ある地場産商品の充実化を行い、生産量の増加、収入増に向けた支援を行います。

特に観光産業では「食」の重要性は高く、観光客のニーズにあった食や土産品開発・販売が行えるよう、生産者と観光業者や飲食店など事業者による連携のもと、地域と観光が一体となった食の開発に取り組みます。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①観光地店舗数				
②有料観光ガイド数				
③道の駅・直売所みとう売上高				
④「食」の開発数				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、美祢市六次産業化基本計画

現状と課題

- 市民や地域振興、起業を目的に、誰でも気軽に六次産業に取り組める支援が求められています。
- 地域ブランド認定制度「Mine Collection」において、事業者と商品を市の地域ブランドとして認定し、販売の促進を目指していますが、認定基準などが不明確であり、ブランド力の強化と認知度の向上を図る必要があります。
- 県内外への販売をめざす「地産・外商」に取り組み、本市の魅力発信と稼ぐ力の強化に取り組むため、マーケティング力の強化を行うことが、産業の振興において重要となっています。
- 認定事業者で構成されるMine Collection認定者協議会を中心に、パワーアップ事業など認定商品の商品力強化やパッケージなどブラッシュアップを図る必要があります。

取組の方向

六次産業化やブランド開発の振興を図り、第一次産業従事者などの所得向上や雇用の拡大、さらには地域の活性化へつなげます。本市の六次産業事業者への支援を実施するとともにブランド力の強化を図り、都市部へ向けた農産物加工品等のPR活動により地産外商を進めます。

主な取組

1 六次産業化の推進

農業者や女性、法人など多様な団体が、加工にチャレンジできる環境を整備し、六次産業化の取組や新たな特産品の開発などを推進します。

3 地産外商の推進

六次産業産品、ブランド産品などの流通とPR・プロモーションの強化を図るなど、地産外商・地産都消を促進するため、マーケティングを強化します。

2 ブランド化の推進と強化

農林水産物加工品などのブランド化を推進するとともに、ブランド品のブランド力を強化し、ブランド基準に基づく生産体制と農林水産業の生産拡大に向けた取組を行います。

目標指標

項目	現状	目標		備考
		(令和6)	(令和11)	
①六次産業化に新たに取り組んだ件数				
②総合化事業計画認定事業者	2件			
②Mine Collection認定件数	59件(H29)			
③ミネコレクション販売額				

▼ 関連する計画

美祢市観光振興計画、美祢市六次産業化基本計画